

令和2年度第3回東広島市入札監視委員会会議概要

1 会議名

令和2年度第3回入札監視委員会

2 開催日時・場所

令和2年11月20日（金） 10:00～11:40

東広島市役所本館4階 入札室

3 出席委員

岩元委員、石垣委員、中本委員、佐野委員

4 出席職員

建設部次長兼維持課長、建設部河川港湾課長、下水道部下水道建設課長、
総務部次長兼検査課長、事務局員

5 会議の概要

(1) 東広島市の入札契約制度の改正について

事務局から東広島市の入札契約制度の改正について説明を行った。

(2) 入札及び契約手続に係る運用状況の報告について

次の事項について、事務局から説明を行った。

ア 入札方式別発注工事の状況

イ 指名除外措置の運用状況

(3) 検証対象工事の検証について

次の検証対象工事について、入札参加資格要件、工事概要等を事務局及び施工担当課から説明を行った。

ア 令和2年度 土木施設災害復旧事業・林業用施設災害復旧事業・

農業用施設災害復旧事業 河内地区災害復旧工事(2-2)

イ 令和2年度 道の駅整備事業 (仮称)道の駅西条污水管渠建設工事

ウ 令和2年度 東広島市下水道事業 江熊2号污水幹線ほか建設工事(東02-1)

エ 令和2年度 東広島市下水道事業 寺家8号雨水幹線建設工事(雨東02-1)

オ 令和2年度 土木施設災害復旧事業 八本松地区災害復旧工事(2-1-1)

(4) その他

ア 次回委員会の開催について

令和2年度第4回委員会の開催は、令和3年2月頃の予定とし、後日調整を行うことで決定した。

イ 次回の検証工事抽出委員について

抽出委員は配布した名簿の順とし、次回の抽出は石垣委員が行うことで決定した。

6 発言の内容

(1) 東広島市の入札契約制度の改正について

発言者	内容
委員	改正建設業法において、「監理技術者を補佐する者が新たに規定された。」とのことですが、「監理技術者を補佐する者」に、何か資格が必要なのですか。
事務局	1級土木施工管理技士などの国家資格の1次試験に合格をした者であれば、監理技術者補佐になることができます。
委員	監理技術者補佐を専任で配置すれば、監理技術者が1名で兼務できる工事の数は複数可能なのですか。
事務局	兼務件数については、2件までです。

(2) 入札及び契約手続に係る運用状況の報告について

発言者	内容
委員	新型コロナウイルスのために、工事の遅延などの影響はありませんでしたか。
事務局	本市の工事において、新型コロナウイルスによる工事の一時停止や遅延などの影響は発生しておりません。

(3) 検証対象工事の検証について

ア 令和2年度 土木施設災害復旧事業・林業用施設災害復旧事業・農業用施設災害復旧事業 河内地区災害復旧工事(2-2)

発言者	内容
委員	この災害復旧工事を随意契約ではなく、一般競争入札としたポイントは何ですか。
事務局	災害復旧工事は、発災直後の緊急性が高いものや生活再建など優先順位が比較的高いものは、随意契約や指名競争入札での対応を行っております。 期間が経過したものは、基本的に一般競争入札を行い、不調になった場合は随意契約を行っております。 当該工事は、ある程度まとまったエリアでの復旧・復興を目指したもので、東広島市復旧・復興建設工事共同企業体運用基準を適用して、復旧・復興JV対象工事として発注したものです。
委員	例えば道路だけ、河川だけをまとめた工事にするともあると思いますが、色々な種類の工事をまとめられた理由は何ですか。
事務局	被災が大きい地区での工事であったため、工事に必要な資材をまとめて置くことが出来る資材置場の確保が必要だったことなどの理由が挙げられます。

イ 令和2年度 道の駅整備事業 (仮称) 道の駅西条污水管渠建設工事

発言者	内容
委員	入札参加者数が16者と多かった理由は何が考えられますか。
事務局	下水道工事は、過去の入札状況においても競争率が高いことに加え、今年度は、災害復旧工事が多く発注されている影響で、一般工事の受注件数が少ないことから、この工事の受注を希望する多くの業者が入札参加したと考えられます。

ウ 令和2年度 東広島市下水道事業 江熊2号污水幹線ほか建設工事(東02-1)

発言者	内容
委員	入札参加資格要件で、認定等級がAランクとなっていますが、イの検証対象工事の認定等級はAランク又はBランクとなっています。これは、工事の難易度によるものですか。
事務局	工事の発注は、予定価格により認定等級を設定しており、当該工事は、予定価格が約8,000万円のため、格付別標準発注金額表の中に示されたAランクでの発注をしています。

エ 令和2年度 東広島市下水道事業 寺家8号雨水幹線建設工事(雨東02-1)

発言者	内容
委員	この工事とウの検証対象工事は、同じ業者が落札し、近接地での施工であることから、この工事は、諸経費調整の対象になったということですか。
事務局	この工事は、受注者がウの検証対象工事の受注者と同一となった場合には、諸経費調整を行うという前提で発注しております。これは、別々の工事で積算するよりも、1つの工事として大きな額で積算し直した方がより、諸経費率が下がるため、この工事も応札額から諸経費対象の計算をした後に再度設定した額での契約を行っております。

オ 令和2年度 土木施設災害復旧事業 八本松地区災害復旧工事 (2-1-1)

発言者	内容
委員	この工事は、近隣している2つの災害復旧工事を一体的に施工するため、既発注工事の施工業者と随意契約していますが、エの検証対象工事の案件のように諸経費調整を前提として発注する工事は、あらかじめ予定価格の積算にも反映されているのですか。
事務局	災害復旧工事は、小規模な工事の集合体が多く、諸経費調整を行うことで現場での必要な経費の確保が難しくなる可能性があるため、全般的に諸経費調整自体を行わないようしています。
委員	2つの災害復旧工事を最初からまとめて施工することはできなかったのですか。
事務局	既発注工事は、周りに家屋がある等早急に復旧する必要があったため、先行して施工しております。この工事は周りに家屋等が無いことから、既発注工事より遅れて施工していますが、工事車両運搬等の重複を避けて効率的に施工するために、既発注工事の施工業者と随意契約を行っております。